
手。

新品の靴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
手。

【Nコード】
N51820

【作者名】
新品の靴

【あらすじ】
私は、
今日も、
死ぬ。

私は、
今日も、
死ぬ。

電車で。
ビルの上から。
ロープで。
包丁で。

そうして毎日死ぬことを何回も何回も想像する。
人間は唯一想像することができると生き物だ。

想像で死ぬ。

それは私が編み出した最高のストレス発散法。

死ねばすべてが終わる。

社会。
組織。
責任。
同僚。
いじめ。
自分。

死んで頭が真っ白になると、ものすごくスカッとする。
リアルであればあるほどいい。

「はい君この書類テキストファイルにしといて。」
バーン

今日は窓から飛び降りよう。

そうやって毎日をなんとか生き抜いてきた。

のに、

なのに、

最近、死ねなくなってしまったんだ。

死のうとすると、いつもどこからか手が伸びてきて、私を救う。
想像で救いなんていらぬのに。

救ってほしいのは現実なのに・・・

だから私は今とてつもなくイライラしている。

それはもう。

イライラしている。

自分が死ぬか誰かを殺さないかしないともはや収まらない感じだ。

そんな時、手が伸びてきた。

現実で、だ。

その手は私の後ろのお腹の皮をつかみ

ゆっくりとちからをこめて

わたしの皮膚をつねる。

くつうに耐える時間。

となりの人は毎日毎日こうやって静かに、狡猾に、つねってくる。

そりゃ痛いよ

手加減がないからね。

内出血で内側がどす黒くなることもある。

いつもは死ねるから耐えられる。

でももう今日は無理。

私は顔をしかめながら左手をゆっくりと動かす
となりの人のお後ろのお腹の皮をつかみ

ぎゅっ。

無言の戦いが始まる

「どうしたの？ボーっとしちゃって。」

「いや、私達の出会いの始まりって壮絶だったなって思ってた。ビルの上からだとか空ってとても大きいんだなって思える。」

「そうねえ……。私も、いっぱいいっぱいだったのよ。ごめんね。」

「ううん。いいよ。あれが無かったら私達一生話なんてしなかったかもしれないし。」

あの時、どうして頭の中の世界で死ねなくなったのかはわからない。無意識とやらが現実から逃げ続ける私を止めようとしたのかもしれないし、もしかしたら、

無意識とやらが私を振り向かせようとしたのかもしれない。

案外、側に転がってるもんなんだよって。

ただ、なににせよ、一つ、確かに言えることがある。

私は、もう、死なない。

いくら死のうとしても、

妨げられるから。

手が。

大切な友達の、私の後ろのお腹の皮をつかんでた手が、
今度は私を、つかんでくれるから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5182o/>

手。

2010年10月26日02時41分発行